

平成31年度 希望の郷拠点事業報告

《老人デイサービスセンター希望の郷事業報告》

1. 事業総括

(1) サービス事業

平成31年度は、利用者様の自立に向けた質の高いサービスの実現を目指し、一人ひとりの心身の状態や生活環境を把握して、他事業所や家族様との連携を密にとりながら、介護計画、個別機能訓練計画を作成するよう努めました。また、職員間で同じ支援が行えるよう職員会議やカルテ記載の時間に情報交換を重ねました。

在宅で生活が継続できるよう機能訓練にも注力し取り組みました。しかしながら、新規の加算取得は、職員の業務体制等の検討が必要なため未実行でした。

地域の方との交流は、救急法の講習会にお誘いしましたが、参加者は無く課題の残る結果になりましたが、小中高校生、養護学校生の学校活動の受け入れ、在宅親子さんとのふれあい等を積極的に行いました。

年間稼働率は、計画稼働率67%対して、実績稼働率は66%でした。介護保険と自主事業を併用して利用される方が増えました。

(2) 人材育成事業

自立支援に向けてデイサービスの役割について確認を行いました。地域に出かけることが多いので、石見さくら会の職員としての自覚を持つため、送迎前に経営理念を唱えました。また、各職種や各段階に応じた研修に参加し、サービスの質の向上に努めました。

毎月の内部研修では、外部研修に参加した職員を講師役として、お互いが向上できるよう機会を設けました。職員会議では、利用者様の支援の仕方や業務改善案等の意見を出し合いサービスの質の向上に努めました。

(3) 施設整備事業

快適に過ごしていただけるように環境を整えました。脱衣場の床の張替えは、同じ材料が手に入らないとのことで保留の状態となりました。

業務がスムーズに行えるよう Windows 10 適用のパソコンへ入替ました。

平成 31 年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下の通りです。

【サービス事業】

計画上の事業	実施した内容・成果等
介護予防・日常生活支援総合事業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に取り組みたい方を受け入れ、生活機能訓練の維持向上を目指し機能訓練を行いました。新規 3 名の受け入れをしました。しかし、転倒や加齢に伴い心身の状況悪化が生じ、2 名の利用者様が要介護状態と判定される利用者様もおられました。令和 2 年度も、要支援状態の維持・改善の割合が 70%以上になったときに算定される事業所評価加算は算定不能との結果が出ました。
自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・体験利用の広告を作成し、8 月に「さくらだより」と一緒に配布しました。自主事業は平成 27 年 6 月から希望の郷独自で行っている介護保険適用外の事業ですので、県と町にサービスの在り方について再確認をしました。規定が必要との事でしたので、見直しを行いました。 介護保険と併用して利用する利用者様が増えたため、年間延べ 389 名の方が利用されました。
相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の家族様には、送迎の際にデイでの様子等を報告しました。在宅での生活で感じておられること等を聞き、一緒に考えるようにしました。ケアマネとも情報交換を行い、利用者様や家族様が安心して生活の支援ができるように努めました。 地域の方からの相談はありませんでした。
地域とのかかわり強化	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験やボランティアの受け入れを行いました。初めてメイクのボランティアを依頼しました。女性利用者様には好評でした。また、矢上小学校 2 年生の授業の一環で町探検の受け入れしたところ、学習発表会で子ども達が当事業所の発表を行うと招待状をもらい、見学に行き地域との交流ができたと感じました。
利用者、家族、関係機関との信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時等 利用者様と家族様と情報交換を行いました。「希望の郷たより」や「さくらだより」を通して、活動の様子等の情報発信を行いました。救急法講習会は家族様の参加はありませんでしたが、次回も参加の呼びかけを行いたいと考えています。担当者会議の参加や年 2 回のアンケートで、求められているニーズに応えるように努めました。
サービス内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様や家族様の意向等を踏まえた通所介護計画、個別機能訓練計画、運動機能向上サービス計画書に基づき支援を行いました。季節の行事や、調理実習、外部講師による音楽療法等計画通り行いましたが、3 月からは新型コロナウイルス感染症予防のため、交流や外部講師からの行事は中止にしました。地域への外出は予防対策を行い、少人数で行いました。
介護の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員には 2 回以上は外部研修に参加し、自己研鑽に努めました。また、外部研修に参加した職員は内部研修で学んだことを他の職員に伝えることで全体のスキルアップを図りました。しかし、認知症の

	方に対するケアの技法「ユマニチュード」の勉強会は実施できませんでした。
経営基盤の安定 (利用者の確保)	<ul style="list-style-type: none"> ・加算の請求は正確に行えました。情報収集等の時間の確保が現在の業務状態では困難なため、ADL 維持等の加算の取得には至りませんでした。 ・1 日体験のチラシを作成し、「さくらだより」に折り込みました。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との連携強化を図りました。

【人財育成事業】

① 研修

《事業所内研修》

計画上の研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果
人権擁護研修 認知症の理解 感染症 送迎 対人援助技術 救急法講習会 リスクマネジメント 不審者対応 虐待防止	正職員 契約職員		研修に参加した職員が講師として他の職員に伝えることで、お互いがスキルアップできるように内部研修を組みました。マニュアルの見直しも行いました。

《事業所外研修 専門研修》

計画上の研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果
福祉職員キャリアパス対応生涯研修	介護職員	1名	中堅職員としての福祉サービスの基本理念と倫理を理解し、問題解決の実践研修を行う等を学び現場で実践できるように努めました。
認知症ケア研修会	看護職員	1名	認知症ケアの基礎を学び、理解し現場に戻り実践できるように努めました。
デイサービス部会研修会	管理者	1名	個別機能訓練とリハビリ実践に必要な視点を修得、加算における留意点を確認する。現在の状況と照らし合わせ加算に必要な条件に当てはまっているか機能訓練指導員と確認を行いました。
メンタルヘルス研修Ⅰ	看護職員	1名	ストレスに対する理解を深め、職場のメンタルヘルスを改善していくように努めました。
中堅職員スキルアップ研修Ⅰ・Ⅱ	介護職員	1名	仕事がスムーズに進む組織での役割行動の意味を理解し、実践に活かすように努めました。
福祉サービス苦情解決研修会	管理者	1名	利用者様からの苦情の適切な解決に努め、信頼感を高めてサービスの質の向上に努めました。
医療ケア研修会	看護職員	1名	高齢者の爪のケア・フットケアと予防を学び、適切な処置を行いました。

福祉施設職員を対象とした研修会	看護職員	1名	感染症(インフルエンザ・ノロウイルス)対策を学び、内部研修を行い再確認しました。
リスクマネジメント	介護職員 管理者	各1名	クレーム対応について、基本的な考え方や解決方法、交渉力等を修得し、内部研修を行い職員の意識統一を図りました。
島根県認知症介護基礎研修会	介護職員	1名	認知症の基礎を学び、認知症の方の行動や思いを理解するように努めました。
口腔ケアサポート研修	介護職員	1名	口腔ケアの重要性や歯の重要性を学び、口腔内の観察を行いながらケアを実施しました。
結核研修会	管理者	1名	現在の結核発症の状況や、治療法を学びました。初期対応を確認しました。
権利擁護研修会	介護職員	1名	権利擁護と福祉従事者の役割、権利侵害として虐待とその防止について学び、内部研修で職員と虐待について再確認しました。
キャリアパス導入研修会	管理者	1名	人材育成への取り組み等における自組織の課題を明らかにすることを目標に講義を受講しました。
※集団指導・高齢者ケアにおける倫理検討…新型コロナウイルス感染症予防のため中止			
計画外の研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果
福祉送迎運転者講習会	管理者	1名	福祉車両について再確認、事故の事例等をみることで、いろいろな場面での危険の予測ができました。内部研修で日々の送迎での注意点を再確認しました。日本福祉車両会に講師を依頼し、桃源の家で講習会を行いました。
デイサービス収益改善セミナー	管理者	1名	様々な取り組みで収益を上げている事例があり、中には機械を使った事例もありました。実際に使用してみましたが、購入までには至りませんでした。
職員研修会	管理者	1名	福祉施設における接遇マナーの事例を踏まえて講義されました。
ケアマネジメント研修会	理学療法士	1名	ケアマネジメント支援におけるリハ専門職との連携について情報交換を行いました。
介護技術研修会	看護職員 理学療法士	2名	利用者様、介護者のお互いがストレスのないケア方法を学び、日々の支援に役立てました。
施設見学	理学療法士	1名	松江市の2施設を見学し、リハビリ職としての役割や利用者様との関わり方等、情報交換を行いました。

② その他の取組事項

計画上の事業	実施した内容・成果等
事業所間交流	7月の行事(納涼会)に、香梅苑入居者様10名を招待し交流を図りました。
計画外の事業	実施した内容・成果等

理学療法士勉強会	桃源の家と希望の郷の理学療法士で機能訓練の計画書作成、評価について勉強会を開催しました。(11月、12月、1月)
----------	--

【施設整備事業】

計画上の施設整備等	実施した内容等
サッシの取り付け	和室の木枠のガラス戸をサッシに替えました。12月に、床が沈み、建てつけが悪くなり補強を行いました。
パソコンの購入	サポートが切れるため、Windows10適応のパソコンを1台購入しました。
脱衣場 床の張替え	カビの発生がみられる部分のみ張替えの予定でしたが、同じものが無いとのことで未実施の状態となりました。
計画外の施設整備等	実施した内容等
電話機の更新	全ての電話機が故障したため更新をしました。

2. 利用者状況の総括

新規の利用者19名に対し、利用終了者13名と新規利用者が上回る結果になりました。利用実績は当初計画の延利用者数4,200名に対し4,054名ですが、自主事業利用者を含めると4,443名と目標人数は達成という結果になりました。アンケート等で利用者様のニーズを把握し満足していただけるよう努めました。

【利用率の状況表】

(単位：人、%)

定員	計画人数	計画利用率	実績人数	実績利用率	備考
6,200	4,200	67.7	4,054	65.4	通常規模 1日定員 20名 年間営業日 308日 1日平均利用人数13.1人

【利用者構成の状況表】

(単位：人、%)

構成 (介護度別)	計 画		実 績		備考
	人数	構成割合	人数	構成割合	
総合事業	5	12.5	2	5.1	3月末の実績
要支援1	3	7.5	3	7.7	
要支援2	5	12.5	5	12.8	
要介護1	12	30.0	17	43.6	
要介護2	6	15.0	8	20.5	
要介護3	7	17.5	3	7.7	
要介護4	2	5.0	1	2.6	
要介護5	0	0.0	0	0.0	
合計	40	100.0	39	100.0	

3. 要員（人員）体制の総括

人員はほぼ計画通りでした。1月に1名の契約職員(介護福祉士)が入社し、職員が一丸となって自立に向けたサービス提供を行いました。

【要員状況表】

(単位；人、%)

職 種	計 画		実 績		
	人員	常勤換算数	人数	常勤換算数	計画に対する 充足率
所長(管理者)	1	0.1	1	0.1	100.0
生活相談員	2	1.0	2	1.0	100.0
看護職員	3	1.0	3	1.0	100.0
機能訓練指導員	4	1.4	4	1.4	100.0
介護職員	7	3.3	8	4.7	142.4
調理員	4	1.5	4	1.5	100.0
運転手	1	0.05	1	0.05	100.0
合計	16	8.35	17	9.75	116.8

※令和2年3月末に基づくもの

※生活相談員、機能訓練指導員、介護職員 兼務の人数

4. 苦情解決（要望含む）について

苦情はありませんでした。

以上